＜資料1＞
アリーナプロジェクト延期と今後の進め方
（報告事項）

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

目次

1.アリーナプロジェクト延期に関する情報提供 3

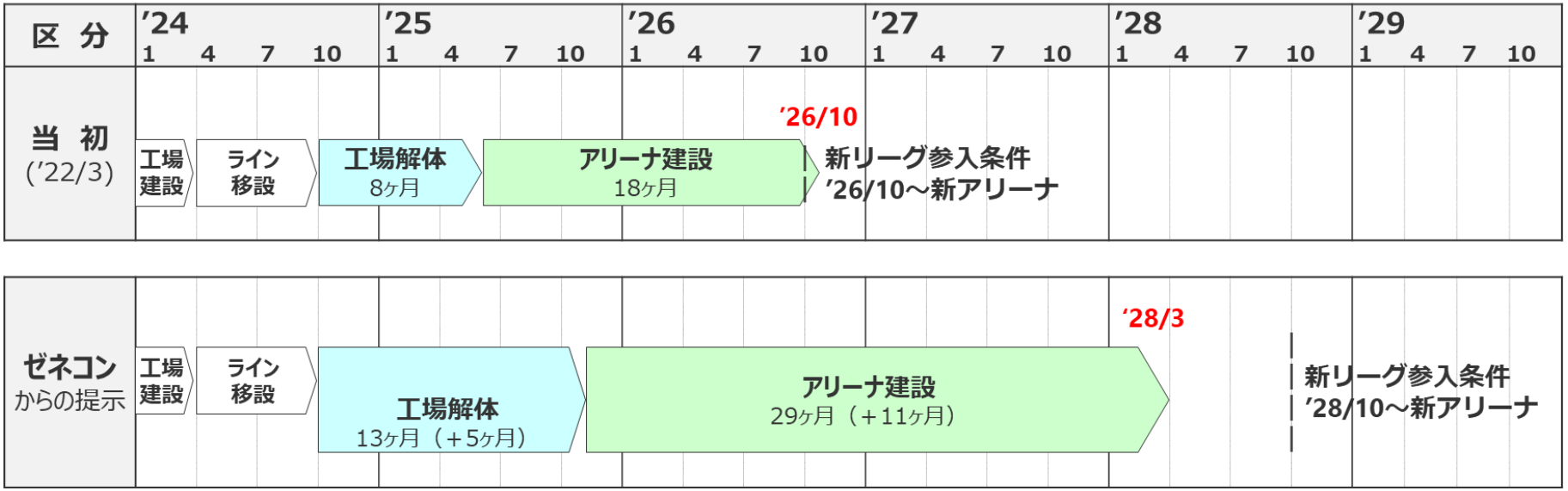
2. Bプレミアライセンス申請に関する情報提供 4

3. 今年度の進め方 5

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

1.アリーナプロジェクト延期に関する情報提供

- ８月２６日の三河安城交流拠点建設募金団体の記者会見において施設の竣工が「２０２６年１０月」から「２０２８年３月」に工期延期することが発表された。
- 工期延期の主な要因は、建設業界の働き方改革・人材不足及び、建設資材の調達期間の長期化。



3 出所：株式会社アイシン、三河安城交流拠点建設募金団体提供資料を加工し作成

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

2. Bプレミアライセンス申請に関する情報提供

安城市 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

➢ １０月１７日のBリーグの発表において、シーホース三河が２０２６－２７シーズンから新リーグ「Bプレミア」の参入ライセンスを取得したことが発表された。

一次審査	二次審査	三次審査

クラブ名	平均入場者数	売上高	ホームアリーナ
宇都宮ブレックス	2022-23 4,165名 2023-24 4,742名	2022年度 12億円以上 2023年度 12億円以上	ブレックスアリーナ宇都宮 ・区分：改修 ・開業時期：2025年9月予定 ・観客席数：5,000席
千葉ジェッツ	2022-23 4,509名 2023-24 4,634名	2022年度 12億円以上 2023年度 12億円以上	LaLa arena TOKYO-BAY ・区分：既設 ・開業時期：2024年5月 ・観客席数：10,652席
アルバルク東京	2022-23 6,065名 2023-24 6,012名	2022年度 12億円以上 2023年度 12億円以上	TOYOTA ARENA TOKYO ・区分：新設 ・開業時期：2025 年秋予定 ・観客席数：10,090席
川崎ブレイブサンダース	2022-23 4,511名 2023-24 4,559名	2022年度 12億円以上 2023年度 12億円以上	（新）とどろきアリーナ（仮称） ・区分：新設 ・開業時期：2028年10月予定 ・観客席数：5,000席
琉球ゴールデンキングス	2022-23 6,823名 2023-24 7,746名	2022年度 12億円以上 2023年度 12億円以上	沖縄アリーナ ・区分：既設 ・開業時期：2021年4月 ・観客席数：9,104席
レバンガ北海道	2023-24 4,617名	2023年度 12億円以上	北海きたえーる ・区分：改修 ・開業時期：2027年10月予定 ・観客席数：6,295席
仙台89ERS	2023-24 4,373名	2023年度 12億円以上	ゼビオアリーナ仙台 ・区分：改修 ・開業時期：2025年7月予定 ・観客席数：5,038席
群馬クレインサンダーズ	2023-24 5,244名	2023年度 12億円以上	OPEN HOUSE ARENA OTA ・区分：既設 ・開業時期：2023年4月 ・観客席数：5,027席

クラブ名	平均入場者数	売上高	ホームアリーナ
アルティーリ千葉※B2	2023-24 5,005名	2023年度 12億円以上	千葉ポートアリーナ ・区分：改修 ・開業時期：2026年9月予定 ・観客席数：5,075席
サンロッカーズ渋谷	2023-24 4,456名	2023年度 12億円以上	TOYOTA ARENA TOKYO ※アルバルク東京との共同使用 ・区分：新設 ・開業時期：2025年秋予定
横浜ビー・コルセアーズ	2023-24 4,799名	2023年度 12億円以上	横浜BUNTAI ・区分：既設 ・開業時期：2024年4月 ・観客席数：5,002席
信州ブレイブウォリアーズ※B2	2023-24 4,291名	2023年度 12億円以上	ホワイトリング （長野市真島総合スポーツアリーナ） ・区分：改修 ・開業時期：2026年10月予定 ・観客席数：5,000席
三遠ネオフェニックス	2023-24 4,236名	2023年度 12億円以上	多目的屋内施設 ・区分：新設 ・開業時期：2027年10月予定 ・観客席数：5,010席
名古屋ダイヤモンドドルフィンズ	2023-24 5,190名	2023年度 12億円以上	IGアリーナ ・区分：新設 ・開業時期：2025年7月予定 ・観客席数：15,000席
島根スサノオマジック	2023-24 4,230名	2023年度 12億円以上	松江市総合体育館 ・区分：改修 ・開業時期：2026年9月予定 ・観客席数：5,000席

クラブ名	平均入場者数	売上高	ホームアリーナ
広島ドラゴンフライズ	2023-24 4,618名	2023年度 12億円以上	広島グリーンアリーナ ・区分：改修 ・開業時期：2025年5月予定 ・観客席数：5,252席
佐賀バルーナーズ	2023-24 5,061名	2023年度 12 億円以上	SAGA アリーナ ・区分：既設 ・開業時期：2023年5月 ・観客席数：8,610席
富山グラウジーズ※B2	2023-24 4,180名	2023年度 9億円以上	富山市総合体育館 ・区分：改修 ・開業時期：2026年10月予定 ・観客席数：5,006席
シーホース三河	2023-24 3,443名	2023年度 12億円以上	三河安城交流拠点（名称未定） ・区分：新設 ・開業時期：2028年9月予定 ・観客席数：5,011席
滋賀レイクス	2023-24 3,560名	2023年度 12億円以上	滋賀ダイハツアリーナ ・区分：改修 ・開業時期：2027年10月予定 ・観客席数：5,055席
神戸ストークス※B2	2023-24 3,047名	2023年度 12億円以上	GLION ARENA KOBE ・区分：新設 ・開業時期：2025年4月予定 ・観客席数：10,168席
長崎ヴェルカ	2023-24 3,630 名	2023年度 12億円以上	HAPPINESS ARENA ・区分：既設 ・開業時期：2024年10月 ・観客席数：5,813席

- 観客席数はバスケ興行時のもの
- Bプレミアライセンスを交付されていないB1クラブの内、4次審査を予定するのは4クラブ
- 参入クラブの情報はBリーグ公開資料を使用

3.今年度の進め方_(1) 開業までの検討ステップ

➢アリーナプロジェクト延期を受け、今年度以降の検討ステップは以下のとおり。運営権の重畳利用を含め最適な事業スキームを検討のうえ、制度制定・協定等締結など必要な手続きを行う当初の方針に変更はない。

表　開業までの検討ステップ（第１回審議会資料に検討年度を加えたもの。赤文字が今年度実施事項）

検討年度	令和6年度	令和7年度～令和8年度	～令和9年度	令和10年度～
検討ステップ	Step1 事業スキーム検討	Step2 協定・契約締結	Step3 施設整備・寄附	Step4 開業・施設運営
取組概要	■ 市・計画主体による協議を通じ、最適な事業スキームを検討する	■ 事業実施に必要な基本協定や実施契約等を市・計画主体間で締結する	■ 計画主体にて施設整備を行い、竣工後に市が建物等の寄附を受ける	■ 計画主体にて施設運営を行い、市は運営状況のモニタリングを実施する
対応すべき主な事項	■ 指定管理者制度での施設運営をベースに、運営権の重畳利用要否を判断する ■ 利用料金などの事業条件を整理する ■ 運営権・利用料金などの事業条件を整理し、設置管理条例、実施方針条例等を制定する ■ 計画主体が検討する施設計画に対し、施設規格のモニタリングを実施する	■ 計画主体が作成する事業計画を精査、運営権に係る実施方針を作成する ■ 上記を踏まえ、市・計画主体間で基本協定及び実施契約を締結する ■ その他協定・契約締結に必要な諸手続き（指定管理者の指定等）を実施する	■ 施設整備費に充当する交付金・補助金に必要な諸手続き（申請事務等）を実施する ■ 計画主体による施設整備に対し、出来高確認（施行・品質管理）のモニタリングを実施する	■ 市・計画主体が連携の下、地域活性化や周辺地域の賑わい創出に資する取組を等を実施する ■ 計画主体による施設運営に対し、事業計画の実施状況に関するモニタリングを実施する

※運営権を重畳利用した場合の事業フローを整理

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.

3.今年度の進め方_⑵今年度の進め方

➢アリーナプロジェクト延期に伴う変更はない。

表　令和６年度の三河安城交流拠点検討審議会（第１回検討審議会で提示したものを更新。赤文字が第２回審議会のアジェンダ）

審議会	第１回	第２回	第３回
日時	■ ８月２日（金）	■ １０月２８日（月）	■ ２月１２日（水）
審議事項 アジェンダ	■ 令和5年度の振り返りと今年度の進め方 ■ 計画主体が求める運営方法 ・計画主体が想定する運営の方向性 ・運営で考慮すべき「今後調整が必要な事項」 ■ 指定管理者制度と運営権等の重畳利用を含む運営スキーム ・指定管理者制度と公共施設等運営権制度 ・運営権重畳利用における公共側の主なメリット ・運営権重畳利用における主な留意事項 ・運営権重畳利用の論点 ■ アリーナプロジェクトのモニタリング ・モニタリングの概要 ・計画主体による市民への意識醸成活動	■ アリーナプロジェクト延期と今後の進め方 ■ 第１回審議会の振り返りと論点確認 ・第１回審議会総括 ・委員からの指摘事項 ■ 計画主体との協議状況 ・計画主体との協議状況 ■ 指定管理者制度と運営権の重畳利用の方向性 ・事業の方向性 ・運営スキーム図（初期案） ■ アリーナプロジェクトの意識醸成活動	■ 第２回審議会の振り返りと論点確認 ■ 設置管理条例及び実施方針条例で定めるべき事業条件の確認 ■ アリーナプロジェクトの意識醸成活動 ■ 今年度の振り返り ■ 令和7年度以降の進め方

※運営権を重畳利用した場合の事業フローを整理

Copyright© Anjo City. All Rights Reserved.